



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	心残りは Perfume
Author(s)	日熊, 隆則
Citation	琉球大学大学教育センター報 = University Education Center Bulletin(14): 57-58
Issue Date	2011-12
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41425
Rights	

心残りは Perfume

「数の文化」担当 日熊隆則（教育学部）

Q：最初に受賞を知ったときどんな気持ちでしたか？

A：ある日、僕のポストに次のようなことを書いた紙が入ってたんですよ。

—あなたは「数の文化」の授業により、本年度のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤーに選ばれました。つきましては、この賞を受賞される場合、当方にご連絡頂きますようよろしくお願いいたします—

これ見たとき、なんだか山猫から『めんどな裁判』を頼まれたような気分でしたね。何かめんどくさいことに巻き込まれつつあるなあ、だいたい、POYってなんだ？というような気持ちでした。

Q：それはひどい(笑) POYの存在を知らなかったんですか。

A：はい。実はまったく関心がなかった。しかし実際受賞してみると、まわりの人たちがいろいろと言ってくさるんで嬉しかったです。自分がやったことで認められるというのは、いくつになっても嬉しいものです。

Q：どのような授業をやったのですか？

A：毎回、数に関するトピックを一回完結でやっていきました。今、思い出せる内容を羅列すると

1. 数当て手品と2進法
2. 空間把握能力と公務員試験
3. 九九表から $\sum k^3$ の公式を導く

4. 漸化式で平方根を求める

5. 教育用プログラム言語ドリトル

6. 囚人のジレンマゲーム

などです。

Q：一貫性はないですね(笑)こんなんでもよく受賞できましたね。

A：まあね。でも今思うと、毎回、次はどんな話でびっくりさせてやろうかと、けっこうネタ探しに時間を割きました。それと、これは僕の持論なんですけど

「体験しない限り、人は学ばない」というのがありまして。

Q：どういうことですか。

A：人は、教えてやってもちっとも理解なんかしないってことです。まず、体験させるんです。不思議なこと、めんどくさいこと、びっくりすること、美しいとおもうこと、何でもいいから感情や感性に訴えることをやらせる。そうして初めて人は「どうすればいいんだろう」とか「なぜなんだろう」という気持ちを抱きますよね。

Q：あ、そうか。そういう気持ちになったときに教えるんですね。

A：いや、まだです。そこからブレイン・ストーミングです。学生から気づいたことや考えたことを引き出していく。それをきいて他の学生がまた新たな気づきを…というようにしていきます。こうやって、一番

大切な『考える』という体験をしてもらいます。そしてうまくいけば学生の中から解決策や答えが出てきます。

Q: じゃあ先生は何も教えないわけですね。

A: そうです。こっちが教える度合いが少なくなれば少ないほど、学生は「教え方がうまい」と思ってくれます。だから、授業で一番うまくいったときって、僕が何も教えなかったときです。こっちがいっぱい教えたときに限って、学生は憂鬱な顔をしますよ(笑)

Q: そういうのを生徒中心の授業っていうんでしょうか？

A: さあ、どうでしょう。僕の授業スタイルは、実は、自己啓発セミナーやオープン・カウンセリングなどにヒントを得ています。こういうのって、答えは自分の中にあるって感じで、何も教えませんからね。いろんな体験をさせた後、最後にほんの少しサゼスチョンすることによって、その場にいるほとんどの人が深い気づきを得たりします。

Q: なるほど。ところで今回、最もその影響が色濃く出ていたのはどんなテーマのときでしたか。

A: 最後にやった『四人のジレンマゲーム』です。このテーマはゲーム理論の中の非常に単純なゲームのひとつで、小学生でも理解できるものですが、おそろしく奥が深く、進化論や心理学、経済学や社会学あるいはビジネス書などにも登場するものです。最後の授業では、実際に自己啓発セミナーで行われているようなゲームをやりました。学生の感想をみると、このゲームはかなり

のインパクトがあったようです。受賞の決め手になったのはこの日の授業かも。

Q: 最後に何か言っておきたいことありますか。

A: そうですね。今も心残りなことがあります。それは、Perfume の授業が出来なかったこと。

Q: それってアイドルの Perfume ですか？

A: そうです。僕は POY の賞金で Perfume のライブに行っていていいかと尋ねたら、それは駄目で、さらなる教育の質向上のために使うように言われました。しかし、僕にとっては Perfume のライブに行かせてもらえることが、一番質向上に役立つんですがね。

Q: 何なんですか？その Perfume の授業ってのは。

A: それは秘密です。ときどき、中学や高校で出前でやっていますが、この授業を受けると人生が変わってしまうというとても危険な授業です(笑)

Q: それはぜひ受けてみたいような。

A: ま、そのうち。最後に、POY を受賞させてくれた学生さんたち、そして POY を企画実行してくださった人たち、本当にありがとうございました。